

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立茨田北小学校

令和8年4月

大阪市立茨田北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、「豊かな心を持ち、明るく、たくましく生きる子どもを育てる」ことを教育目標に掲げており、知育「よく考え、進んで学ぶ子」・徳育「自分の良さを伸ばし、人を思いやる子」・体育「あきらめずにやりぬく子」の調和のとれた人間形成を目指している。

令和7年度では、研究教科を国語科とし、主題を「物語教材文を通して、主体的に学ぼうとする子どもの育成」と設定した。また、副主題を「子どもの育成のために、教師のあり方を考える」とし、指導者側も学習者の学ぼうとする力を実現するために、指導の在り方について研修や研究を計画的に行った。学習活動中に子どもたちが、自分の考えや思いを発表したり交流したりしようとする力は付いてきたが、結果的には令和7年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合は 28.7%だった。この結果から、活動はしているがついた力に気づけていない児童が多いと考察される。

今後、学習活動に自己の学びや活動について振り返る時間を設け、ついた力を確認するようにすることで、自己肯定感やウェルビーイングが感じられるように授業改善や行事の再構築を行っていく。また、デジタル学習基盤の活用を前提とした効果的な学習方法の推進を図っていく。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。 R7 85

○令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。 R7 85

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 R7 76

○令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 96%以上にする。 R7 92

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 11 年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 63%以上にする。 R7 なし

○令和 11 年度の教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。 R7 19

○令和 11 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 76%以上にする。 R7 72.9

中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。R7 74.3

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。R7 75.1

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を67%以上にする。R7 66.8

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。R7 87.8

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。R7 なし

○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。R7 19

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。R7 72.9

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立茨田北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 R7 74.3 ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。 R7 75.1	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、名称 安全・安心な教育環境の実現】 いじめアンケートを毎学期実施して各設問で「ある」と答えた児童への対応を100%にする。 ----- 指標 学校アンケートにおいて「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を84%以上にする。 R7 83.5	
取組内容②【基本的な方向1、名称 安全・安心な教育環境の実現】 安心して学校生活を送れるように心の天気を活用する。(心の天気で雨や雷をつけている児童に声かけをする。) ----- 指標 学校アンケートにおいて、「学校が楽しいですか。」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。 R7 84.2	
取組内容③【基本的な方向番号2、名称 豊かな心の育成】 児童のよいところを教師が伝えたり、終わりの会などで児童同士がよいところを伝え合う活動を行ったりする。また、各教科において、話し合い活動を行って自分の意見を認められる場を設定したり、学習の成果物をクラスや学年で見せ合い、ほめあったりする場づくりをする。 ----- 指標 学校アンケートにおいて、「自分にはよいところがあると思いますか。」の項目について、肯定的に答える児童の割合を77%以上にする。 R7 76.9	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立茨田北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 67%以上にする。 R7 66.8 ○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 R7 87.8	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【 基本的な方向4、名称 誰一人取り残さない学力の向上 】 各学年の実態に応じて、個の学びを見取る振りかえりの工夫を行う。 ----- 指標 学校アンケートにおいて、「授業の終わりに、自分が分かったことや考えたことを書いたり話したりして、成長を感じているか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 60%以上にする。R7 なし	
取組内容②【 基本的な方向5、名称 健やかな体の育成 】 各学年の発達段階に応じた投の遊び、投の運動に取り組む。 ----- 指標 昨年度の5年生の新体力テストのデータ分析より、「タイミングの良さ」と「力強さ」が要求される「巧緻性」と「瞬発力」を測定する種目において、全国平均と比べ、男女ともに低い結果が見られたことから、今年度は学校全体で投球能力の向上を目指し、「ソフトボール投げ」の種目において、再度冬にも記録を取り、春の記録に比べ、1m以上記録を向上させる。 R7 学校平均→10.8m 5年生平均→13.8m	
取組内容③【 基本的な方向5、名称 健やかな体の育成 】 児童が心身ともに健康になるために、手洗いの正しい仕方や重要性を理解する。さらに、望ましい食生活の形成や、食に関する理解の促進を図る。 ----- 指標 指標 年 2 回の手洗い週間を通して、手洗いのタイミングや方法を理解し、学校アンケートにおいて「給食前に正しく手洗いができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。 R7 なし 毎日の給食と食についての学習(年 2 回)を通して、いろいろな食べ物の栄養について理解する。 R7 年2回	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立茨田北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。 R7 なし ○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。 R7 19 ○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。 R7 72.9	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【 基本的な方向6、教育DXの推進 】 学習・自学・宿題等でICT端末を使用する機会を設ける。 ----- 指標 週に3回以上クラスの児童がタブレットを使用する機会を設ける。 R7 なし	
取組内容②【 基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり 】 教職員全員とSSSとの連携が円滑になるように取り組む。 ----- 指標 教職員アンケートにおける「SSSを効果的に活用できていますか。」に対して肯定的に回答する教職員の割合を80%以上にする。 R7 なし	
取組内容③【 基本的な方向8、生涯学習の支援 】 読書に親しみをもてるよう、図書館開放を活用する。 ----- 指標 木曜日の図書館開放を活用する児童が平均47人を超えるようにする。 R7 46	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式3)

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立茨田北小学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--